

○第187回肥料・飼料等専門調査会(非公開)

日時：令和5年4月26日(水) 14:00~16:20

議事概要：

(1) 動物用医薬品(ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤(ドラクシンKP))^{*1}の食品健康影響評価について

審議の結果、ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤(ドラクシンKP)は、本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度とすることが了承され、評価書(案)を一部修正することとなった。引き続き動物用医薬品専門調査会で審議の予定。

^{*1}動物用医薬品として、牛の発熱を伴う細菌性肺炎の治療に使用されます。

(2) 飼料添加物(3-ニトロオキシプロパノール)^{*2}の食品健康影響評価について

審議の結果、継続審議となった。

^{*2}飼料添加物として、飼料の栄養成分その他の有効成分の補給(牛の^{あいき}暖気中のメタンの削減)を目的に使用されます。